

朝日生命 全国0歳～12歳の子どもを持つ働く母親1000名へのアンケート調査を実施

自分にもしもの場合、心配事は「子どもの世話」89.9%

東日本大震災発生当日、働く母親が一番心配したことは「子どもの安否」

朝日生命保険相互会社(社長:佐藤美樹)は、全国の0歳～12歳の子どもを持つ働く母親1,000名を対象に、2011年5月16日から18日にかけて子育てに関するアンケート調査を実施しました。その結果、98.6%もの母親が育児しながら働き続けることを希望していることが明らかになりました。また、89.9%の働く母親は、自分にもしもの場合、子どもの世話が心配と回答。さらに、東日本大震災が発生した3月11日に母親が一番心配したことは、「子どもの安否」という結果となり、母親の子どもに対する思いの深さが改めて浮き彫りになったと言えます。

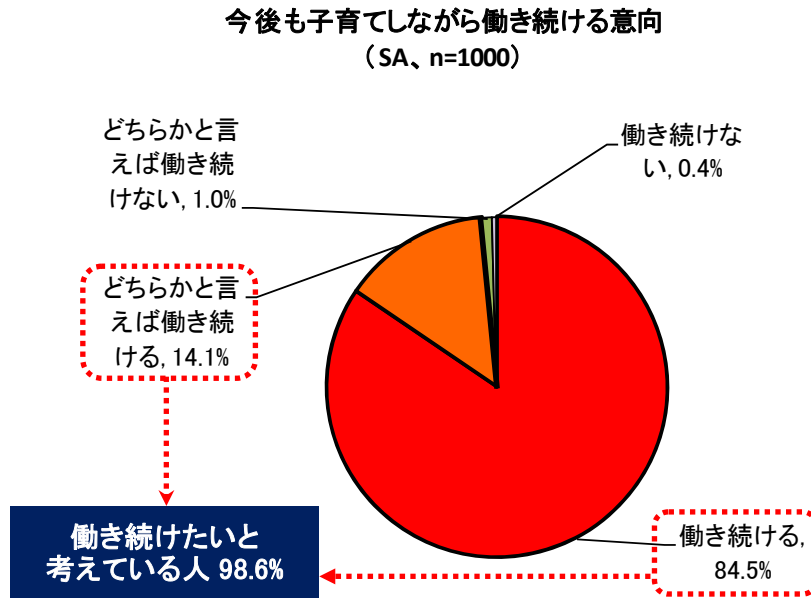
アンケート調査の主な結果

- 98.6%もの母親が、育児しながらでも働き続けることを希望
- 子どもが病気の時「自分が仕事を休んで看病」64.7%
- 働く母親にとって、家族の中で「子ども」は「夫」の約3倍大切
- 自分にもしもの場合の心配事は「子どもの世話」89.9%
- 5歳以下の子どもをもつ働く母親の6割、「自分にもしものことが起きた場合、育児代行や家事代行サービスを利用したい」
- 子育てしやすい会社になるためのポイント第1位は「子どもが病気の時など、柔軟に休みがとれるようにする」
- 東日本大震災発生当日、働く母親が一番心配したこと「子どもの安否」92.5%
- 東日本大震災後、「母と子の絆」の大切さ再認識、6割以上
- 働きながら子育てをする上での工夫は、「子どもとふれあう時間を大事にする」が最多
(「夫、親、職場など周囲に協力してもらおう」、「時間を効率よく使う」が続く)

●98.6%の母親が、育児しながらも働き続けることを希望

Q. あなたは、今後も子育てをしながら働き続けるつもりですか？

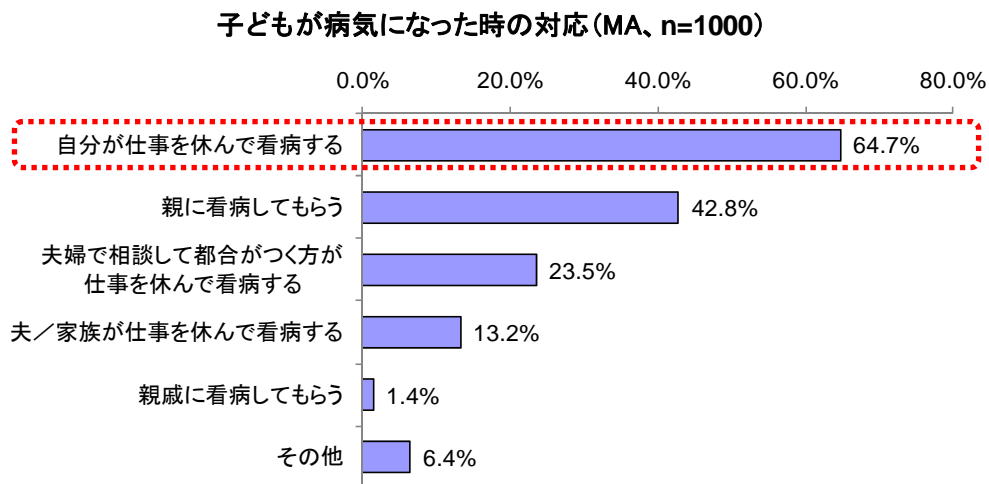
・「働き続ける」「どちらかと言えば働き続ける」の合計が 98.6%であり、働く母親のほとんどは今後も働き続けたいと考えています。



●子どもが病気の時「自分が仕事を休んで看病」64.7%

Q. 仕事がある日に子供が急に病気になった場合、通常はどのような対応をしますか？あてはまるものをすべて選んでください。

・最も多いのは「自分が仕事を休んで看病する」64.7%。2番目は「親に看病してもらう」42.8%であり、夫が仕事を休む場合よりも親に看病してもらう方が多いという状況です。



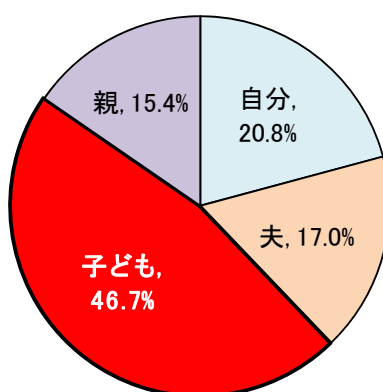
●働く母親にとって、家族の中で「子ども」は「夫」の約3倍大切

Q. 自分・夫・子どもを「大切に思う」比率はどうなりますか？

(調査では全体を10割とした場合の回答だが、集計では全体を100%に換算)

・全体では、46.7%を「子ども」が占めています。これは、「夫」17.0%の2.75倍にあたり、母親が子どもを大切に思う気持ちが明確となりました。

自分・夫・子ども・親を「大切に思う」比率
(n=1000)

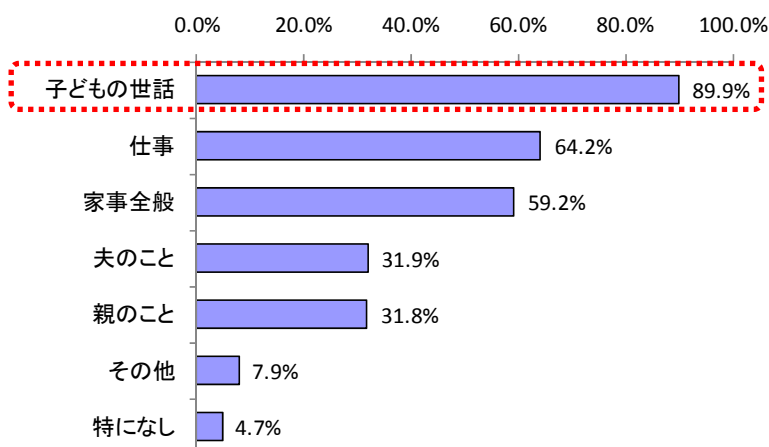


●自分にもしもの場合の心配事は「子どもの世話」89.9%

Q. あなたの身に病気や怪我など、もしもの事が起きた場合、自分自身の症状以外に心配に感じることはありますか？

・1番は「子どもの世話」89.9%、次いで「仕事」64.2%、「家事全般」59.2%。「夫」は31.9%、「親」は31.8%と仕事や家事よりも低いという結果です。

病気やけがなど、もしもの事が起きた場合、自分自身の症状以外に心配に感じること(MA、n=1000)

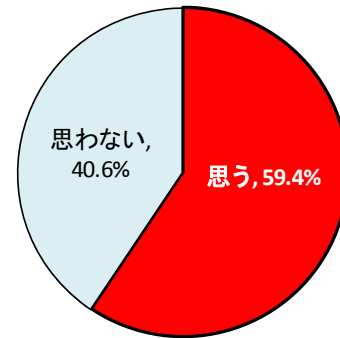


●5歳以下の子どもをもつ働く母親の6割、「自分にもしものことが起きた場合、育児代行や家事代行サービスを利用したい」

Q. 自分にもしものことが起きてしまった際に、ベビーシッター等の育児代行サービスや家事代行サービスを利用できたらよいと思いますか？

・5歳以下の子どもをもつ母親では、59.4%がこれらのサービスを「利用できたらよいと思う」と答えています。育児代行・家事代行サービスのニーズが高いことが明らかになりました。

自分にもしものことが起きてしまった際に、ベビーシッターなどの育児代行サービスや家事代行サービスを利用できたらよいと思うか(SA、末子0歳～5歳、n=500)



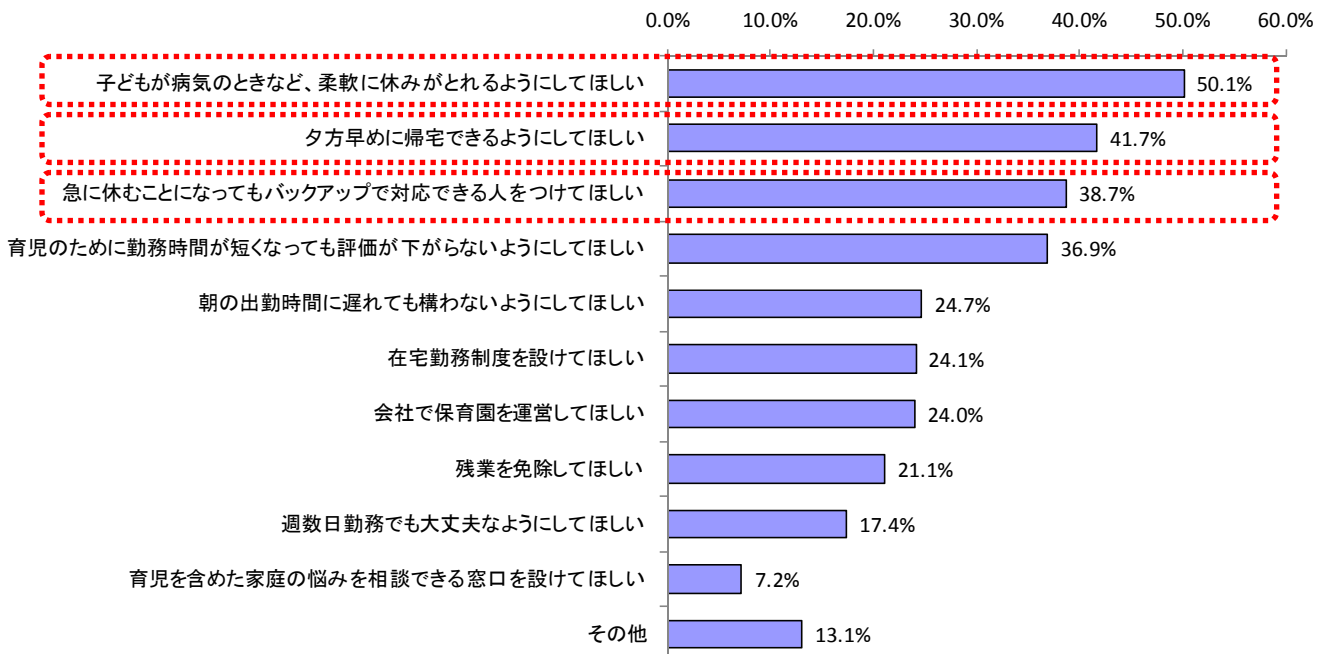
●子育てしやすい会社になるためのポイント第1位は「子どもが病気の時など、柔軟に休みがとれるようにする」

Q. 会社がどのようにすれば、もう少し子育てしやすくなると思いますか？

・上位の回答は次の通りです。

- 1番は「子どもが病気のときなど、柔軟に休みがとれるようにしてほしい」50.1%。
- 2番は「夕方早めに帰宅できるようにしてほしい」41.7%。
- 3番は「急に休むことになってもバックアップで対応できる人をつけてほしい」38.7%。

会社がどのようにすれば、もう少し子育てしやすくなると思うか(MA、n=1000)



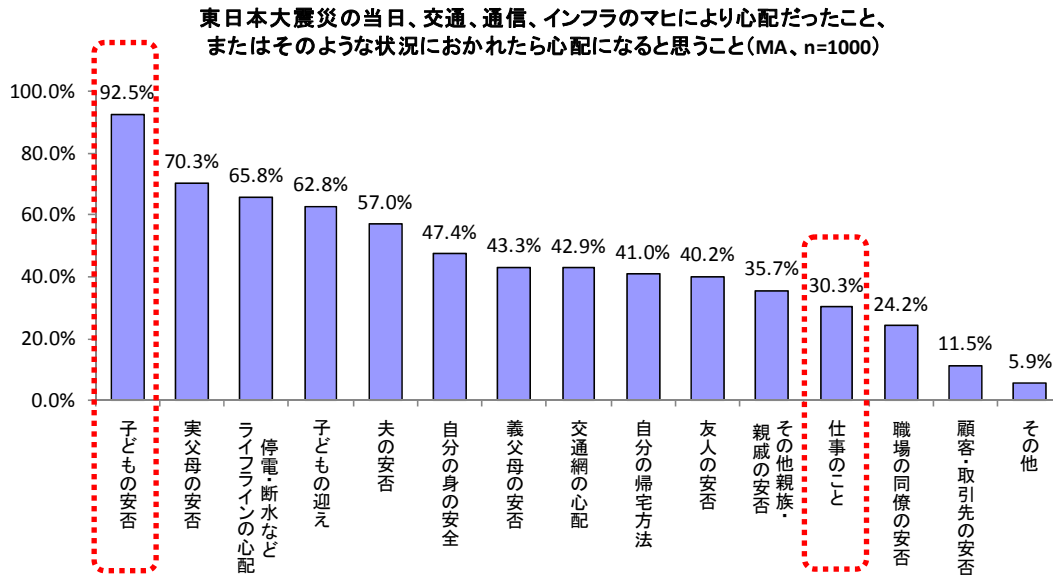
●東日本大震災発生当日、働く母親が一番心配したこと「子どもの安否」92.5%

Q. 東北地方や関東甲信越地方などでは、震災発生当日、交通や通信、インフラのマヒが発生し、移動や連絡が難しい状況が続きました。

○あなた自身がその状況を経験された時、何が一番心配でしたか？

○経験されなかった方は、もしそのような状況があなたに起こった場合、何が一番心配になると思いますか？

・「子どもの安否」が 92.5%と最多で、「仕事のこと」は 30.3%に過ぎませんでした。何よりも子どものことを心配に思う母親の気持ちが明確に表れました。

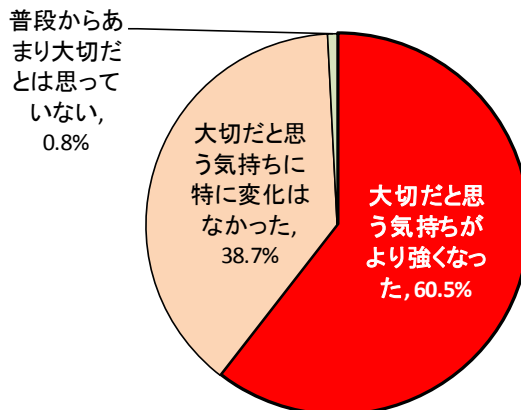


●東日本大震災後、「母と子の絆」の大切さ再認識、6割以上

Q. 東日本大震災後を経て、下記の事柄に対する気持ちに変化はありましたか？

・東日本大震災を経て、親子の絆について「大切だと思う気持ちが強くなった」と答えた母親は 60.5%です。

東日本大震災を経て、親子の絆についての考えはどのように変化したか(SA、n=1000)



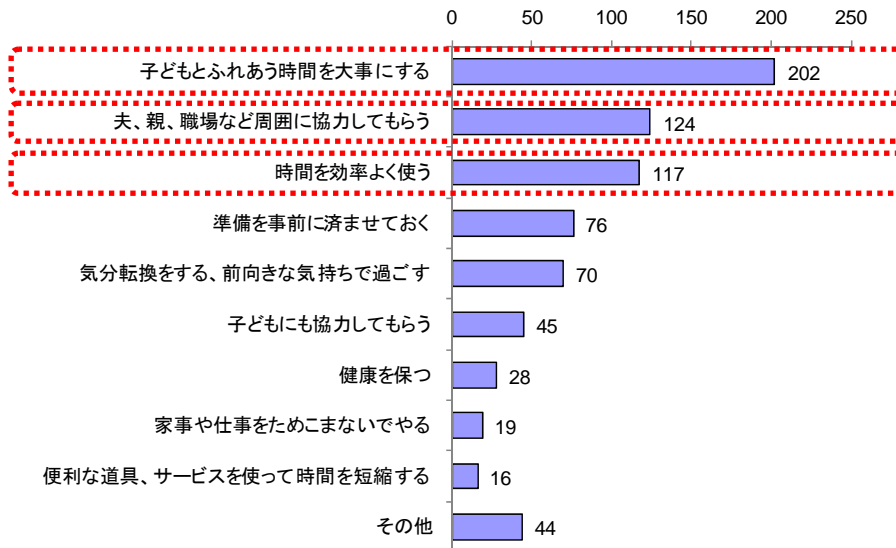
●子育ての工夫

Q. 毎日働きながら子育てをしている中で、努力や工夫をしていることはありますか？

・自由回答では、「子どもとふれあう時間を大事にする」に当てはまる工夫が最も多く挙げられました。

「夫、親、職場など周囲に協力してもらう」、「時間を効率よく使う」が続きました。

子育てをする上での工夫(FAを分類した件数、1回答の複数カウントあり)



・代表的な回答を抜粋して紹介します。

- ・自分と子どもの日々の健康管理に、とても気を使っている。子どもとの時間を確保するため、洗濯や掃除などは毎日まめに行い、絶対に溜め込まないようにし、休日は子どもと思う存分遊ぶようにしている。
- ・いろいろなことをすべてしようとは思わないようにしている。失敗したり、予定通り進まなくても常に良い方に、ポジティブに考えるようにしている。
- ・前の日の夜に次の日の食事の用意をしておく。
- ・手を抜くことができることは無理をせず抜く。いつ仕事を休むかわからないので(子の病気)余裕を持って仕事の段取りなどを済ませておく。
- ・先を見越した準備をする。前日の夜に翌日の準備を済ませる(食事、着ていく服、ごみだし準備など)。
- ・体に気を付け無理をせずがんばりすぎないで何事も行う。多少お金がかかっても仕方がないので便利なサービスや商品の購入をする。子どもの相手を時間がある限りする。
- ・効率よくこなすために頭の中である程度順番を決めて行動する。(夕食の一品を朝用意したり、前日に作っておいたり、朝起きてすぐ洗濯機を回しておく、子供の保育園の準備は必ず前日にするなど)
- ・忙しいのは当たり前なのでとにかく無理はしない。子供との時間や習い事の送り迎えに時間を費やす為に、たまには食事の支度を手抜きする事がある(生協の簡単に調理できる食材を使ったり、惣菜を買ったり)。学校からの連絡物等は仕事の休憩中や通勤の合間に目を通す。
- ・いかに家事を簡略化するか家電や中食を利用、わざと平日に振休で家事をする。会社の仕事は持ち帰れる物は持ち帰り、残業できるときにしておき、それを貯金しておく。子供は早めに通院させて悪化させない。両方の親になつかせておく。有料育児サービスも使う。
- ・主人がとても協力的で助かってます。それに対して必ず感謝の言葉を忘れないこと。
- ・子供と短い時間でも、きちんと向き合う時間をとっている。今は一緒にお風呂に入る時間と寝る前の 20 分間。それと、毎日「大好きだよ」ということ。

■調査概要

- ・調査実施主体:朝日生命保険相互会社
- ・調査手法:インターネット調査(株式会社 クロス・マーケティングのモニター使用)
- ・調査実施日:2011年5月16日(月)～5月18日(水)
- ・調査対象者
 - 年代:20代から40代 女性
 - 地域:全国(岩手県、宮城県、福島県、青森県、茨城県のそれぞれ一部を除く)
 - 性別:女性
 - 職業:自営業・経営者・会社員・契約社員・派遣社員・公務員・団体職員
 - 条件:0歳から12歳までの子どもがいる
 - スクリーニング条件:末子年齢が0歳～5歳 500名、末子年齢が6歳～12歳 500名

【用語】

- ・SA(単一回答) 選択肢の中から一つだけ選んでもらうタイプの質問
- ・MA(複数回答) 選択肢の中から二つ以上選んでもらうタイプの質問
- ・FA(自由回答) 選択肢を作らず自由に回答してもらうタイプの質問